

「絵本欲しい」願い届く

新潟に避難 福島の子へ

東日本大震災

東日本大震災で新潟市西区の西総合スポーツセンターに避難している福島県いわき市の主婦、渡辺幸江さん(45)に7日、新潟市中央区の女性から絵本など10冊が届いた。本紙「県内避難者の声」で、読書好きな娘たちのために「絵本がある」とありがたいです。本には「冬が終われば春が来る」などのメッセージが添えられ、渡辺さんは「記事を見てたくさんの本や優しいメッセージを頂き、言葉にならない」と喜びをかみしめている。

本紙に 訴え掲載 市内の女性から10冊



親類の赤ちゃんに本を読み聞かせる渡辺真悠さん(右)と、読書に熱中する萌恵さん=7日、新潟市西区

渡辺さんのコメントが1日、小学6年の長女、真悠さん(11)と同3年の次女、萌恵さん(8)は、2人とも読書好き。「本を」と絵本や児童書を購入。

「悠さん(11)と同3年の次女、萌恵さん(8)は、2人とも読書好き。「本を」と絵本や児童書を購入。」

「本に頑張ってください」とのメッセージを付け、「みんなが応援してるよ」避難所の渡辺さんに宛て

て郵送した。真悠さんは「本も励ましの言葉も、本当にうれしい」とにっこり。一緒に避難している親類の赤ちゃんに絵本を読み聞かせている。萌恵さんは「もらった本を大事に読みたい」と夢中でページをめくっている。渡辺さんは今月中には自宅に戻り、本は避難所に寄贈する予定。